

かんせい かん
管制官

おお ひこうき ちゃくりく いちど くこう ひこうきどうし
多くの飛行機が着陸するために一度に空港にやってくると、飛行機同士がぶつかってしまったりして、

きけん くこう なか りりく ひこうき われさき かつそうろ しゅうちゅう どうよう
とても危険です。また空港の中でも離陸する飛行機が我先に滑走路に集中すると、同様に

きけん お かんせい かん かんせいとう
危険です。こんなことが起きないようにするため、**管制官** は空港にある管制塔から

ひこうき じぶん め かくにん むせん しじ だ りりく ちゃくりく じゅんばん き
飛行機を自分の目で確認しながら、無線で指示を出して離陸や着陸をする順番を決めたり、

つか とお ひこうき まよ くこう こ みちび
レーダーシステムを使って遠くにいる飛行機が迷わずに空港まで来られるように導いたりしています。



国土交通省 航空保安大学校
Aeronautical Safety College
〒598-0047
大阪府泉佐野市りんくう往来南3番地11

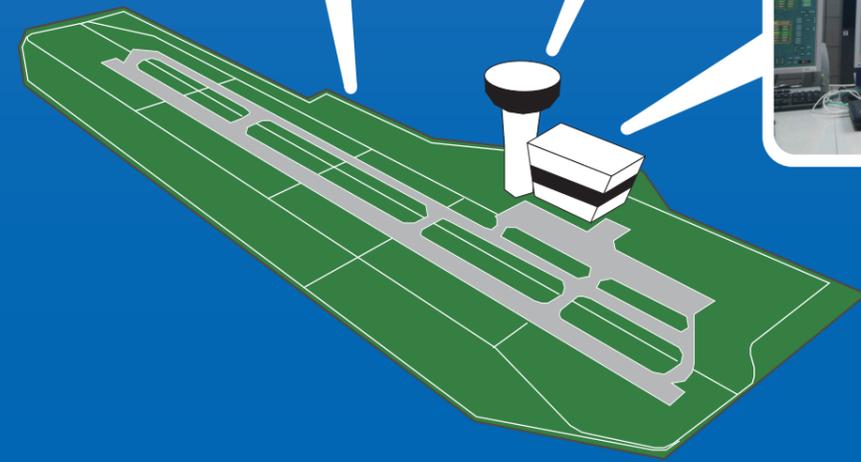
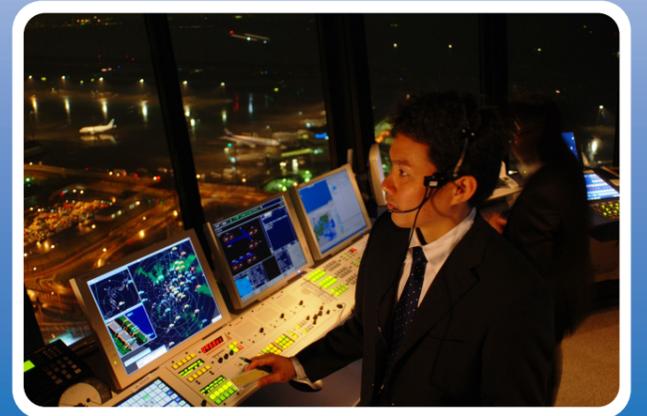


おおぞら あんぜん ささ しごと
大空の安全を支える仕事

にほんじょうくう だいしやう ひこうき まいにち と
日本上空には、大小さまざまな飛行機やヘリコプターが毎日とてもたくさん飛んでいます。

ひこうき まよ あんぜん そら と
これらの飛行機たちが、ぶつかったり迷ったりしないで、安全に空を飛ぶことができるのは、

ちじやう やくわり う ひと よ はたら
地上でいろいろな役割を受けもった人やシステムがチームワーク良く働いているからです。



サンキュー



こうくうほ あんだいがっこう しごと ひと がっこう
わたしたち 航空保安大学校 は、このような仕事をしたい人のための学校です。

うんこうじょうほうかん

✈ 運航情報官 ✈

ひこうき くうこう と た まえ と くうこう い か けいかく つく
飛行機が空港を飛び立つ前には、どこを飛んでどの空港へ行くのかを書いた計画を作って

うんこうじょうほうかん

だ けいかくしよ う と
出さなければなりません。運航情報官 は、この計画書をパイロットから受け取り、

ないよう あんぜん と ひつよう じょうほう ていきよう
内容をチェックしたり、安全に飛ぶために必要な情報をパイロットに提供したりします。また、

ひこうき あんぜん りりく ちゃくりく まいにち くるま かつそうろ はし わる
飛行機が安全に離陸・着陸ができるよう毎日、車で滑走路を走り、悪いところがないか、

もの お しらべ そら あんぜん ささ
じやまな物が落ちてないかを調たりして空の安全を支えています。



かんせいぎじゅつかん

✈ 管制技術官 ✈

わたし め み そら うえ ひこうき とお みち みち つくる
私たちの目には見えませんが、空の上には、飛行機たちが通るための道があります。この道を作る

そうち ちじょう み くも うえ と ひこうき かんせいかん かくにん
ためのさまざまな装置や、地上からは見えない雲の上などを飛ぶ飛行機を管制官が確認するための

かんせいぎじゅつかん
にほんじゅう くうこう はたら けいさく
レーダーシステムが日本中の空港で働いています。管制技術官 は、このような装置や

ただ うご しごと せんよう ひこうき の そうち
システムなどを正しく動かすための仕事をしています。また、専用の飛行機に乗ってこれらの装置や

せいじょう
システムが正常かどうかチェックもしています。

